

## 第3回審議会 基本計画（案）についての意見

No.	基本施策	第3回審議会意見	修正・考え方
1	1子育て支援の推進	出生数の目標値が31人となっているが、妥当なのか。また、これを実現するために既存以上のことや、近隣市でしていないこと、もっとアピールしなければならないと思う。独自の取組みは何をしているのか。	【施策指標】「出生数（年間）」から「この地域で、今後も子育てをしたいと思う人の割合（年間）73.3%→80%」に修正を行いました。 村では、大阪府下で唯一オムツへの助成や0-2歳の保育無償化等に取り組んでいます。 これらの魅力を村内外に発信するために、【今後の方向性】「子育て支援情報を幅広く発信し、村で子育てを行う魅力を村内外に広めます」を追記し、【16シティプロモーションの充実～今後の方向性】「観光や子育て支援などあらゆる分野が連携し、村内外の人から魅力的なむらと思ってもらえる、付加価値のある取り組みを戦略的に情報発信します」の記載内容を変更し、村内外へのPRを今後検討していきます。
2	1子育て支援の推進 他、全般	出生数は倍増させるのに、地域子育て支援拠点事業の利用回数は0.2回の微増となっている。非現実的な数字とリアルな数字が目標値として混在しているのではないか。	各基本施策の【施策指標】に括弧書きで追記する等の補正や指標の見直しを行いました。 例：地域子育て支援拠点事業未就学児の1人あたりの利用回数（年間） 例：職員1人あたりの年間研修参加数（年間） 「3.8回/年→4回/年」⇒「3.8回→5.3回」（1人当たり1.5回増）
3	2健康増進・疾病予防の推進	村内で医療体制を維持する必要はあるのか。村外の医療機関と連携すれば、村内に自前で体制を用意しなくともいいのではないか。	「救急体制は維持していかなければならない」「診療所についても医療と介護と福祉を連携して提供していくために、維持していきたい」とから、【現状・課題】に「広域連携による急病診療、医療の受け入れ体制の整備、医療費適正化の維持が必要です」と修正しました。
4	2健康増進・疾病予防の推進	食育の部分が弱い。学校の給食に村の物を使うなど。	【今後の方向性】に「郷土食の伝承や、学校給食における地産地消、食に関する正しい知識を身につける機会を提供し、食育活動を推進します」と追記するとともに、【16シティプロモーションの充実～今後の方向性】「観光や子育て支援などあらゆる分野が連携し、村内外の人から魅力的なむらと思ってもらえる、付加価値のある取り組みを戦略的に情報発信します」の記載内容を変更し、村内外へのPRを今後検討していきます。
5	4地域産業の振興	富田林市では「きらめき農業塾」というものをやっている。こういうところと連携すれば、村内で講座や支援を行わなくても、新規就農者増につながるのではないか。村独自でやったとしても、なかなか新規就農者の獲得が難しくなっている。	【今後の方向性】「外部人材を活用した農地の利用促進や、良好な農空間を保全し、遊休農地を解消します」や、【施策の取り組み】「若手農家の育成と外部人材の活用による農地の利用促進」「遊休農地の実態把握と発生防止及び活用の推進」の記載内容の中で、今後検討していきます。
6	4地域産業の振興	海外から農業研修として外国人が入ってくることはないのか。ECサイトで農産物販売など農業のICT化はしないのか。	【今後の方向性】「外部人材を活用した農地の利用促進や、良好な農空間を保全し、遊休農地を解消します」や、【13自然・環境との共生～今後の方向性】「環境負荷の少ない地域づくりを推進します」の記載内容の中で、今後検討していきます。
7	4地域産業の振興	蓄農型太陽光発電を進め、行政が信用保証していくことが今後は大切なのではないか。これであれば、都市部の人が出資して保有することも容易である。	棚田は農家の仕事の場と考えています。 【5観光・交流の促進～施策の取り組み】「交流人口の増加に向けた地域資源の活用」に記載内容を一部変更し、今後検討していきます。
8	4地域産業の振興 5観光・交流の促進	棚田の方が観光資源として出てこないがどうなっているのか。	【施策の取り組み】「ふるさと応援寄附金制度の推進」の記載内容の中で、今後検討していきます。
9	5観光・交流の促進 16シティプロモーションの充実	ふるさと納税の返礼品の種類が少ない。相談会の回数を増やすなどをしてほしい。そうすれば、目標値も件数ではなく、相談会の開催回数など行政の働きに応じた目標値を立てられるのではないか。	【登山客自体は増加傾向にあるのでそれを活かしていきたいと考えています。 【施策の取り組み】「交流人口の増加に向けた地域資源の活用」「金剛山周辺整備の推進」や、【16シティプロモーションの充実～今後の方向性】「観光や子育て支援などあらゆる分野が連携し、村内外の人から魅力的なむらと思ってもらえる、付加価値のある取り組みを戦略的に情報発信します」の記載内容を変更し、村内外へのPRを今後検討していきます。
10	5観光・交流の促進	観光協会の会員数が目標値に入っているが、観光協会は行政とは別組織なので、目標値として掲げるはどうなのか。	観光協会には、補助金等で支援しています。観光協会の会員数が増えれば、村の賑わいが創出され、観光産業も活発になると考えています。
11	5観光・交流の促進 16自然・環境との共生	金剛山の登山客を増やすという考えはないのか。	【今後の方向性】「自然環境や景観に配慮し、誰もが安心して快適に住み続けられる良好な住環境づくりを推進します」の記載内容の中で、今後検討していきます。
12	6移住・定住の促進	近隣の市町に比べてマンションや集合住宅がない。子育ては充実していても、戸建てしかなければ、引っ越してくるのにハーネルとなるので、マンションや集合住宅を作っていく必要があるのではないか。	【新築に対する補助というのではなく、新築を建てる人が少なくなっている今、時代にあわない施策のような気がする。最近はリフォームする人も多いので、空き家の改修など、今あるものにお金を使う方が有効だと思う。】 【新築を買う際には非常に助かった」というご意見もありました。 【今後の方向性】「空き家の利活用や、住宅の耐震化を推進し、住まいの確保、生活しやすい環境づくりに取り組みます」や、【施策の取り組み】「新築マイホームの取得助成」「空き家改修に対する助成」の記載内容の中で、今後検討していきます。
13	6移住・定住の促進	新築に対する補助というのではなく、新築を建てる人が少なくなっている今、時代にあわない施策のような気がする。最近はリフォームする人も多いので、空き家の改修など、今あるものにお金を使う方が有効だと思う。	【今後の方向性】「空き家の利活用や、住宅の耐震化を推進し、住まいの確保、生活しやすい環境づくりに取り組みます」の記載内容の中で、今後検討していきます。
14	6移住・定住の促進	空き家の利活用として、特定空き家の行政指導などをを行い、罰則規定などを設けて、空き家の整理をしていくべきではないか。	【5観光・交流の促進～施策の取り組み】【16シティプロモーションの充実～施策の取り組み】「ふるさと応援寄附金制度の推進」の記載内容の中で、今後検討していきます。
15	6移住・定住の促進	空き家の管理業務をふるさと納税の返礼品として設ければ、都市部から空き家を購入してくれる人も出てくるかもしれない。こういったアドバイスや埋もれているものの掘り起こしを行政側からしていくことも大切なではないか。	【今後の方向性】の記載内容の中で、今後検討していきます。
16	7学校教育の推進	子どもたちの心を育む教育として、村らしさを感じてもらい愛着を形成するようなところにも注力してほしいと思う。	【今後の方向性】の記載内容の中で、今後検討していきます。

17	7学校教育の推進	子どものコミュニケーション能力が低い子が多い。言うことを聞くことだけがいいことではない。そして、そういうギャップを持った子が隔離されてしまうのではなく、きちんと相談ができるような教育の場のあり方を作ってほしい。	【今後の方向性】の記載内容の中で、今後検討していきます。
18	7学校教育の推進	最近保育園でも英語教育を提供しているところがある。そのような取り組みはしていかないのか。	村には、公私連携による幼保連携型認定こども園があります。今後連携しながら、【今後の方向性】「公私連携による幼保連携型認定こども園において、一体的な幼児教育・保育を提供します」【施策の取り組み】「認定こども園の運営支援」の記載内容の中で、今後検討していきます
19	7学校教育の推進	英語教育が進められているのは良いことだが、世界的に見るとビジネスの世界では中国が力を伸ばしている。今後を考えると、英語だけでなく中国語を教えていくべきだと思う。	今後研究していきながら、【今後の方向性】「「生きる力」の基礎を養うため、学力の向上と教育力を充実し、確かな学力、豊かでたくましい人間性、健やかな体を育みます」の記載内容の中で、今後検討していきます。
20	7学校教育の推進 8社会教育の推進	全欠児童数の目標は、1人あれば未達成となる。それであれば、コミュニティスクールの会議開催回数を指標にしてみてはどうか。また社会教育の図書室関係で2つ目標があるので再検討してはどうか。	【7学校教育の推進～施策指標】 「施策指標全欠児童（学生）生徒数〇人→〇人」削除 「教育の充実（小中学校の教育など）に対する満足している・まあ満足しているの割合73.7%→80%」追加 【8社会教育の推進～施策指標】 「施策指標～図書室利用者数（人/年間）3,131人→3,500人」削除 コミュニティスクールは今後設置が義務付けられ、既に村でも設置を予定していることから、施策指標としません。
21	8社会教育の推進	「くすのきホール、村民運動場等施設の今後のあり方を検討し、柔軟な運営を行います」とあるが、ここにいきいきサロンは含まれるのか。高齢者だけでなく、いろんな人が通える場にできないのか。	目的外となるので難しいですが、多世代交流等の目的で、いろんな人に来ていただけ仕組みは作っているので、そちらをさらに充実させていきたいと考えています。
22	11安全・安心の推進	自主防災組織は13地域揃えばすべてカバーできるのか。	地域としては充足できますが、組織することが目的ではありませんので、地域の実情に合わせながら、それぞれで活動を充実させていくため、【今後の方向性】「自主防災組織や避難行動要支援制度等を充実させ地域防災力を強化します」や、【施策の取り組み】「自主防災組織の人材育成、訓練、防災用品購入支援」の記載内容の中で、今後検討していきます。
23	13自然・環境との共生	金剛山登山等はしていないのか。将来像にも金剛山と出てくるので、金剛山に親しむという視点の取り組みがあっても良いと感じる。	【現状・課題】に記載している様に、「金剛山の里を守り育てる千早赤阪村環境条例」を制定し、豊かな自然環境の保全に参画する意識醸成を推進していきます。
24	14協働と参画のむらづくり	もっとがんばる地域応援事業補助金がなくなつて協働という意味では後退していると感じるので、住民活動に対する支援を充実してほしい。	【今後の方向性】「住民が主体となる住民協働活動を支援し、協働のむらづくりを推進します」を追記しました。 また、【今後の方向性】「地域づくりコーディネーター等の人材の育成や外部人材を活用する等、地域コミュニティ活動を支援し、行動する協働体制に取り組みます」や、【施策の取り組み】「地域づくりコーディネーター等の人材育成や外部人材の活用」「地域活動等総合補助事業」「一般コミュニティ助成事業」の記載内容の中で、今後検討していきます。
25	15持続可能な自立したむらづくり	マイナンバーカードを利用した電子申請システム数が持続可能なむらづくりにどう関係するのか。年間研修参加数を0.2回増加させることができ指標として意味があるのか。	【施策指標】 ・マイナンバーカードを利用した電子申請手続数 〇件→5件 ・職員1人あたりの年間研修参加数（年間） 「3.8回/年→4回/年」⇒「3.8回/年→5.3回/年」（1人当たり1.5回増） に修正しました。 マイナンバーカードを利用した電子申請が可能となる手続きの種別が増加するとともに、利便性の向上、手続きの簡素化とともに事務負担の軽減、行政機能のコンパクト化が期待できると考えています。